

SICE2003 への参加 岩橋 崇史

1 前回からの課題

今現在抱えている課題を以下に示す.

- SICE2003 への参加
- DPMBGA によるタンパク質立体構造のエネルギー最小化

2 SICE2003 への参加

2.1 SICE2003 の概要

計測自動制御学会主催の SICE Annual Conference 2003 in Fukui に参加した. 本学会は 2003 年 8 月 4 日から 6 日までの 3 日間, 福井県福井市の福井大学工学部に開催された.

本学会は, 計測・制御からシステム解析・設計まで幅広い分野を扱う学会です. 今回の SICE2003 において, 私は最終日の 6 日に, 新たな分野・技術に関する最新動向について集中的な議論を行うために提案された, オーガナイズドセッションにて発表を行った.



Fig. 1 学会参加風景

2.2 発表論文

発表論文:

2 個体分散遺伝的アルゴリズム¹⁾ によるタンパク質立体構造のエネルギー最小化

著者:

廣安知之, 三木光範, 岩橋崇史, 岡本祐幸

2.3 参加感想

私と同じセッションで発表される方たちは, ペリカン氏や喜多先生とたいへん有名な方たちであった. そのような有名な方たちの前で発表できたこと, また喜多先生をはじめ聴講者にたくさんの質問をしていただいたことが良い経験になった.

今回の学会にて, 質問に対してもっと的確かつ相手にわかりやすい答えを用意すべきであると強く感じた. この課題は以前から抱えていた課題であり, 今後克服したいものである. そのためには, 自分の研究を柔軟な視点でとらえ, 把握する必要があると感じた. 今後も多くの学会に参加して, そしてまた成長したいと思う.

3 タンパク質グループ Web ページの作成

研究室の夏期休暇中にタンパク質 Web ページの作成を行った. 予定では, 休暇中に作成完了させる予定であったが, まだ未完成のため 9 月中には完成させる.

4 KING2003 への参加

8 月 24 日~30 日までの 7 日間, 東京で開催される KING2003 に参加した. KING はビジネスと学生を切り口に日本の活性化を目指す学生団体である. 毎年様々な企業や社会人の方に協力を得て, 学生のためのビジネスコンテストを開いている. 前年の KING2003 には 4 期生の吉田武史さんが参加された. 今年は大学生, 大学院生を対象とした「スクールビジネス」を考案することを目指す.

5 今後の課題

DPMBGA によるタンパク質立体構造のエネルギー最小化の実験を行い, DPMBGA の有効性の検討を行う.

参考文献

- 1) Tomoyuki HIROYASU, Mitsunori MIKI, Masahiro HAMASAKI, Yusuke TANIMURA. A New Model of Distributed Genetic Algorithm for Cluster Systems: Dual Individual DGA. Proceedings of the International Conference on Parallel and Distributed Processing Techniques and Applications, Vol.1 (2000), pp.477-483